

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	三草会札幌看護専門学校
設置者名	社会医療法人社団三草会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	看護学科	夜・通信 夜・通信	81 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページで公表 <a href="https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files6/jitsumukyouin.pdf">https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files6/jitsumukyouin.pdf</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	三草会札幌看護専門学校
設置者名	社会医療法人社団三草会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校評価委員会
役割	2020年4月1日まで、外部人材の意見を反映することができる組織に関する規定の整備を確実に実施する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考) 2020年4月1日まで、複数の外部人材の選任を確実に実施する。		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	三草会札幌看護専門学校
設置者名	社会医療法人社団三草会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>運営会議・教員会議において、教育計画・内容・方法その他教育に関する事項を審議し、授業計画(シラバス)等を毎年作成している。</p> <p>以下刊行物を作成し、学生に配布、説明会を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業計画</li> <li>・ 教育計画</li> <li>・ 臨地実習要綱</li> <li>・ 基礎看護学実習要綱</li> <li>・ 学生便覧</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files4/1~21.pdf">https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files4/1~21.pdf</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学生面談、教務会議、実習会議等を通して、学生意欲の把握を行い、単位修得試験等を実施し、適正に評価し単位認定を行っている。</p> <p>学習成果の評価に係る取組みの概要、単位の認定の方針等については、以下刊行物を作成し、学生に配布、説明会を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成績評価、単位の認定及び卒業に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 授業計画 19頁～21頁</li> <li>→ 学生便覧 14頁～16頁</li> </ul> </li> <li>・ 科目の履修 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 学生便覧 34頁</li> </ul> </li> </ul>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の基準について</p> <p>①科目の成績評価は、1科目100点満点として優(80点以上)、良(70点以上79点以下)、可(60点以上69点以下)及び不可(60点未満)とし、可以上を合格とする。</p> <p>②授業の出席時間数が各授業科目時間数の3分の2の出席をもって評価を受けることができる。</p> <p>③科目試験は1科目45分で実施し、100点満点とする。</p> <p>④1科目を複数講師が担当する場合は、合計100点満点とし、各々の講師に按分し複数講師全体による評価とする。</p> <p>以下刊行物を作成し、学生に配布、説明会を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画 19頁～21頁</li> <li>・学生便覧 14頁～16頁</li> </ul>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files1/12~25.pdf">https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files1/12~25.pdf</a></p> <p><a href="https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files4/1~21.pdf">https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files4/1~21.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定について</p> <p>人間の尊厳と人間愛の心を養い、看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を習得している者が、修学年限以上を在学、授業科目の全ての単位を修得し、単位・卒業認定会議を経て認定する。</p> <p>以下刊行物を作成し、学生に配布、説明会を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育計画 2頁</li> <li>・授業計画 21頁</li> <li>・学生便覧 16頁</li> </ul>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files3/1~11.pdf">https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files3/1~11.pdf</a></p> <p><a href="https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files1/12~25.pdf">https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files1/12~25.pdf</a></p> <p><a href="https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files4/1~21.pdf">https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files4/1~21.pdf</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	三草会札幌看護専門学校
設置者名	社会医療法人社団三草会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files6/zaimu.pdf">https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/files6/zaimu.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	98 単位	75 単位	単位時間 /単位	23 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
単位時間/単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		119 人	0 人	10 人	52 人	62 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
<p>運営会議・教員会議において、教育計画・内容・方法その他教育に関する事項を審議し、授業計画（シラバス）等を毎年作成している。</p> <p>以下刊行物を作成し、学生に配布、説明会を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画</li> <li>・教育計画</li> <li>・臨地実習要綱</li> <li>・基礎看護学実習要綱</li> <li>・学生便覧・学生便覧</li> </ul>

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>成績評価の基準について</p> <p>①科目の成績評価は、1科目100点満点として優(80点以上)、良(70点以上79点以下)、可(60点以上69点以下)及び不可(60点未満)とし、可以上を合格とする。</p> <p>②授業の出席時間数が各授業科目時間数の3分の2の出席をもって評価を受けることができる。</p> <p>③科目試験は1科目45分で実施し、100点満点とする。</p> <p>④1科目を複数講師が担当する場合は、合計100点満点とし、各々の講師に按分し複数講師全体による評価とする。</p> <p>以下刊行物を作成し、学生に配布、説明会を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画 19頁～21頁</li> <li>・学生便覧 14頁～16頁</li> </ul>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業認定について</p> <p>人間の尊厳と人間愛の心を養い、看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を習得している者が、修学年限以上を在学、授業科目の全ての単位を修得し、単位・卒業認定会議を経て認定する。</p> <p>以下刊行物を作成し、学生に配布、説明会を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育計画 2頁</li> <li>・授業計画 21頁</li> <li>・学生便覧 16頁</li> </ul>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>校長・副校長・保健師・助産師有資格者をはじめ、各領域別看護学担当教員が教育に携わります。教育経験や臨床経験の専門性を活かし、各看護学を担当しています。また、専任教員は教育のほか学校組織の一員としての役割を果たします。校務分掌では教務係、学級係、研修係、実習係に分かれ、重点目標を掲げて教育の充実を図ります。</p> <p>サポート体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数制指導体制</li> <li>・入学前課題学習</li> <li>・学力・国家試験対策</li> <li>・メールBOXの設置</li> <li>・オフィスアワー</li> <li>・看護技術指導</li> <li>・スクールカウンセラー</li> <li>・初年次教育</li> <li>・実習施設の充実</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(主な就職、業界等) 平成 29 年度開校 1 期生入学、令和 2 年 1 期生卒業			
(就職指導内容) 平成 29 年度開校 1 期生入学、令和 2 年 1 期生卒業			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験、保健師・助産師学校養成所の受験、養護教諭養成機関の受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80 人	1 人	1.3 %
(中途退学の主な理由)  病気の治療に専念するため		
(中退防止・中退者支援のための取組)  学生と教員のコミュニケーションを密に行い、学生本人の意思を尊重しながら、保護者も交えて面談を行っている。  相談や連絡を受け取れるように、学校内共用スペースにメールボックスを設置し、また、オフィスアワーも設けている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	200,000 円	700,000 円	506,986 円	実習費、維持費、諸経費 (健康診断、傷害保険、模擬試験、教科書、実習衣等)
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
授業料減免 (特待生) 制度あり				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/2019/05/h30hyouka.pdf">https://www.sansoukai-s.jp/wp-content/uploads/2019/05/h30hyouka.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下記学校評価委員会において、年2回、自己評価アンケート、授業評価アンケートの結果等を基に、課題の把握と改善策の検討を行い、その後の結果を確認していく、PDCAサイクルの実施。</li> <li>・評価項目については、教育理念等に基づき期初に策定され、初回評価委員会において、中間評価より課題と改善策を検討する。その後、改善方策の実施、最終評価を行い、目標達成状況、成果、課題分析を評価委員会において行う。</li> </ul>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校法人西野学園 理事長	2019年5月 ～2022年5月	学校の専門分野における業界関係者
親和第一町内会 会長	2019年5月 ～2022年5月	地域住民
公益財団法人北海道高等学校奨学会 監事	2019年5月 ～2022年5月	地方公共団体の元関係者
株式会社NTTデータ北海道 取締役	2019年6月 ～2022年6月	民間企業役員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に公表する		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.sansoukai-s.jp">https://www.sansoukai-s.jp</a>
--